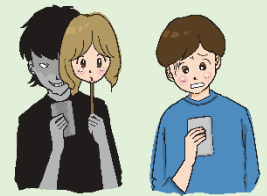


ネットの出会いなどの危険から 子供たちを守るために



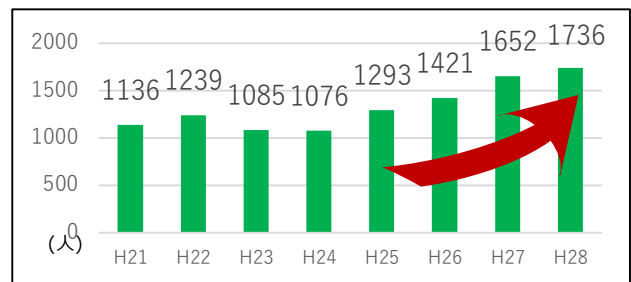
近年、『ネットで知り合った人に会いに行ったことがある』と答える子供が増加しています。また、SNS経由で犯罪被害にあう児童生徒の数も年々増え続けています。

● ネットで知り合った人に会いに行ったと答えた人数 (全国 54,080人対象)

小学生			中学生
低学年	中学年	高学年	
20人	223人	169人	789人

(2018年2月時点 教育ネット調査集計結果)

● コミュニティサイトに起因する事犯の被害児童数



児童=18歳未満の青少年 (資料:警察庁)

ネットの
危険な出会いを
防ぐための

こころのSNS

こころの
SNS

S 承認

子供の気持ちを受け止めて

家や学校で褒められたり認められたりする機会が少ないと、ネット上に自分を認めてくれる人を求める場合があります。

N 認識

子供の興味・関心を知って

子供が興味をもっているものごと知り、日頃からそれを話題にして話をする時間を持ちましょう。



S 相談

相談される雰囲気づくり

一方的な注意が多いと、子供が相談するのをためらってしまうことがあります。まずは「聞き役」に徹しましょう。

なかには、インターネットで知り合った人に助けを求めた結果、最悪の事態になってしまったケースもあります。保護者が子供と話し合える環境にあり、子供の変化にいち早く気づける事が大切です。

ネット利用に関するルール作りのポイント

◎ 依存防止のためのルール作り

占有させない

保護者のものを「貸し出す」という与え方

買う前に決める

「使いたい放題」「好き放題」の状態から制限をするのは困難

使用場所・時間を決める

家族と一緒にいる場所(リビング等)でつかうなど、子供がこっそり使わない環境づくり

書面に残す

日頃から意識できるように、目につきやすいところに貼っておくと効果的



◎ 子供が守れるルール作り

子供と話し合っ『家庭のルール』

- ☆本人の意向を取り入れる
- ☆子ども自身が「これならできる」
- ☆守れなかった時にどうするかまで決める



インターネットやSNSのこと

全てを知らなくても大丈夫！

子供が興味をもっているアプリやゲーム、動画などに一緒にふれてみましょう



わからないことがあったら、子供にたずねてみましょう

子供が困ったときに相談できる関係づくりを